

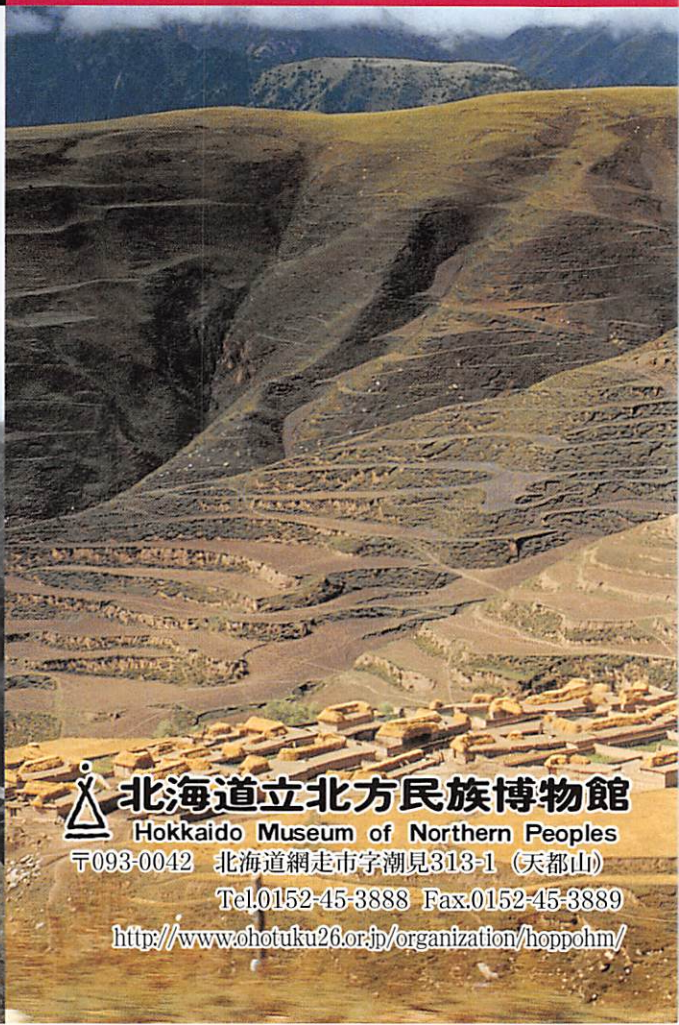
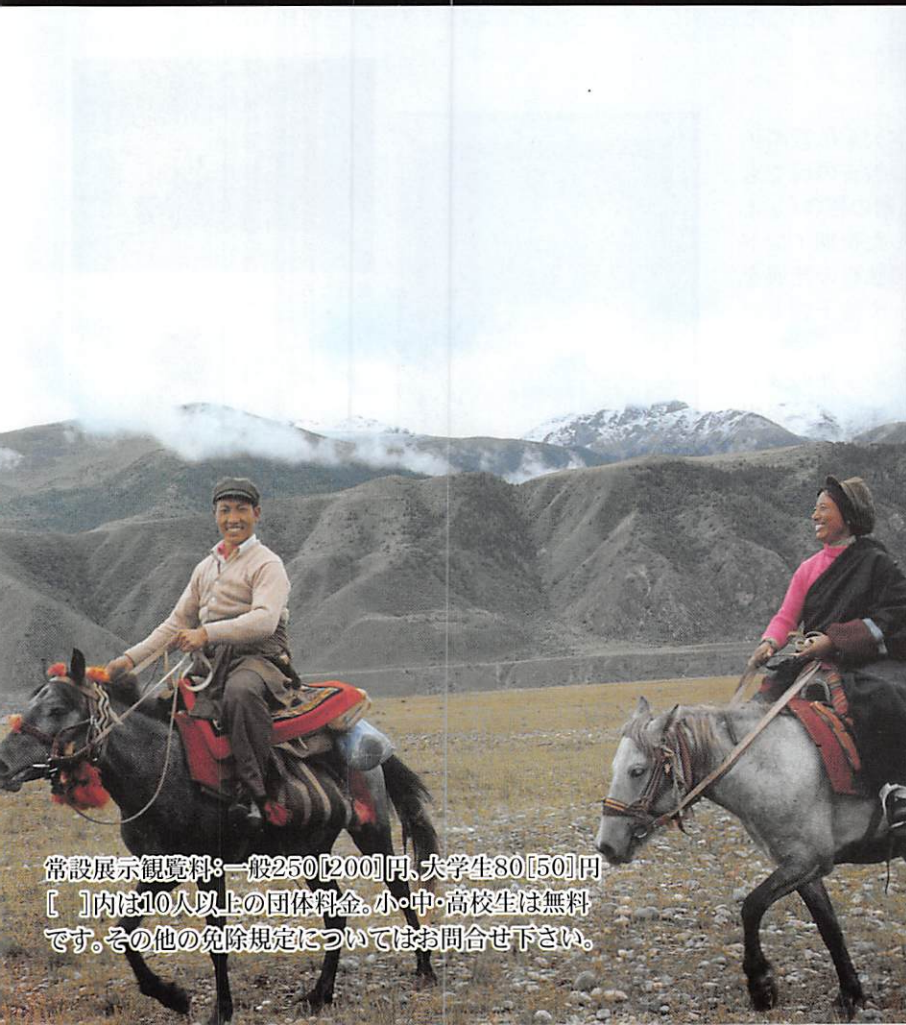
企画展 チベットの人と文化

チベット文化は乾燥・高所・寒冷への適応文化である



People and Culture of Tibet
1999年2月2日(火)～3月20日(土)

開館時間 9:30～16:30
休館日 月曜日、2月18日
企画展の観覧料 無料
展示協力 大森司 紀之氏(北海道大学教授)



常設展示観覧料:一般250[200]円、大学生80[50]円
[]内は10人以上の団体料金。小・中・高校生は無料
です。その他の免除規定についてはお問合せ下さい。

 北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples
〒093-0042 北海道網走市字潮見313-1 (天都山)
Tel.0152-45-3888 Fax.0152-45-3889
<http://www.ohotoku26.or.jp/organization/hoppohm/>

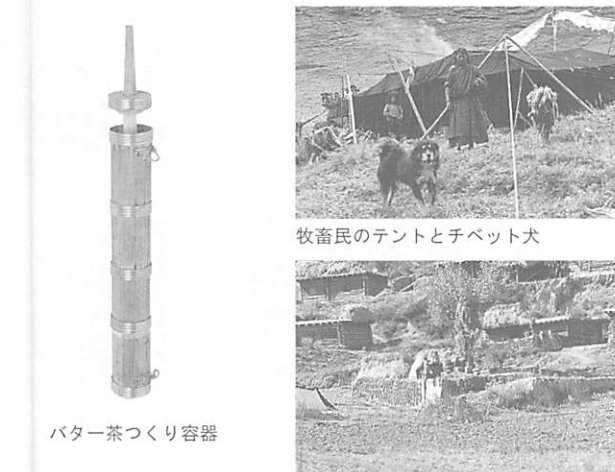
チベットは「世界の屋根」とも呼ばれる海拔4000m前後の大高原地帯です。モンスーンのもたらす降水量はヒマラヤ山脈にさえぎられて少なく、寒冷かつ空気の希薄な厳しい自然環境の地で、人びとは限られた条件をたくみに利用し、オオムギの栽培やヒツジ、ヤクなどの牧畜を行ってきました。また周辺の文化圏との交流のなかで仏教をはじめさまざまな文化を取り入れながらチベット独自の文化を築いてきました。

チベットの歴史

チベットは地理的にはヒマラヤ山脈の北側、コンロン山脈の南側に位置する大高原地帯をさし、その西側はカラコルム山脈に連なる。7世紀半ばに成立した統一王国「吐蕃(とばん)」は政治・軍治制度の整備、仏教の導入、文字の制定を行うなどチベット文化の基礎をつくり、その支配地域はチベット高原の周辺まで及んだ。その後、王国は分裂し、仏教教団を擁する地域勢力の割拠時代が続くが、しだいに有力な勢力が台頭するようになる。その間、元や清の支配を受けるものの巧みに実効支配を免れ、清の崩壊とともにチベットの独立を宣言した。中国は1945年にチベットの領有を宣言し、その後軍を侵攻させた。反中国運動を鎮圧した1959年のチベット動乱のなか、チベットの政治・宗教の権威者であったダライ・ラマ14世はインドに亡命した。かつてのチベットは自治区や青海省、甘肅省、四川省、雲南省に再編され分割統治されている。チベット人の人口は中国侵攻以前には600万人を超えたといわれるが、現在中国領外の在住者も含め300万人弱と推定されている。



チベット自治区およびチベット族自治州の位置 チベット族自治州



牧畜民のテントとチベット犬

収穫されたオオムギ

バター茶つくり容器

産業と食

チベット高原では人間の土地利用は徹底しており、河畔や低地の農耕可能な地域ではオオムギをはじめとする畑作が行われ、斜面には段々畑が開かれている。また畑作が不可能な高地ではヒツジ、ヤクを中心とした家畜の放牧が行われてきた。農業と牧畜の分業体制は早くから確立され、良質なヤクやヒツジの毛や織物のほかヤクの乳を原料とするバターやチーズはオオムギなどと交換され、各地の産物を交易する商人の活動もさかんであった。

オオムギ(高冷地品種)を炒って碾(ひ)いた粉(麦こがし)=ツァンパはヤクやヒツジの肉とともにチベットの主食である。また、乾燥と希薄な空気によって呼吸から体内の水分が奪われるため、人びとは煮出した紅茶にバターと塩を加えたバター茶を何杯も飲む。

チベット仏教

チベットは7世紀にインドから仏教を導入した。インド大乘仏教の仏典はチベット文字に翻訳され、各地に建設された寺院は教育の場でもあった。今日のチベット仏教の中核は、11世紀にインド高僧の招聘(しょうへい)や留学生の派遣などによって積極的に学びとった後期インド密教が基になっているとされる。その後チベットの地で独自の発展を遂げた「チベット仏教」は13世紀から16世紀にかけて元や清王朝との接近によりモンゴルや満州族などに伝えられた。

チベット仏教は政治的・宗教的変遷を経て、いくつかの宗派の成立をみたが、宗派結束の手段として転生活仏の制度を導入する宗派が出現した。ダライ・ラマはゲルク派の活仏の称号である。17世紀中期のダライ・ラマ5世は政治的、宗教的両面で権威をもち、以後歴代ダライ・ラマは聖俗の権威の象徴とされた。一般民衆の間では宗派の本山や各地の寺院仏閣、聖人や神話に由来する霊場、聖地への巡礼が盛んであり、マニ車を回し数珠をたぐりながらマントラを唱え、身を投げ出す五体投地はチベット仏教固有の習慣である。

期間中のもよおし(参加料無料、事前に電話でお申し込み下さい。会場：当館講堂)

■講座「チベットの人と文化」

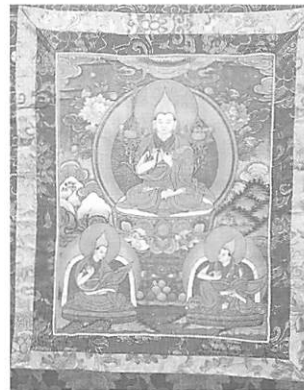
2月27日(土)13:30~16:00

講師 大泰司 紀之氏(北海道大学)、月原 敏博氏(大阪市立大学)

■博物館クラブ「北方民族の狩猟法ーワナのしくみを学ぼうー」

2月13日(土)10:00~11:30

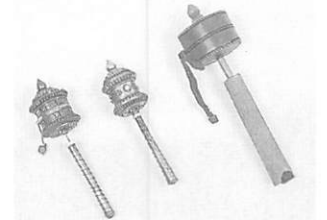
講師 渡部 裕(当館学芸課長)



タンカ(仏画)



僧侶たち



マニ車

